

気象集誌

第84巻（平成18年）総目次

2006

論文

Editorial	1	i
Seung-Ki MIN・Stephanie LIGUTKE・Andreas HENSE・Ulrich CUBASCH・ Won-Tae KWON・Jae-Ho OH・Ulrich SCHLESE： IPCC SRES シナリオで大気海洋結合モデル ECHO-G により シミュレートされた21世紀の東アジアの気候変化	1	1-26
Wen-Yih SUN・Jiun-Dar CHERN：寒冷前線に対する台湾の中央山脈の 影響についての数値実験	1	27-46
二宮洸三・西村照幸・鈴木恒明・松村伸治：大気大循環モデルでシミュレートされた アジア大陸東岸の寒気吹出と気団変質	1	47-68
Rosbintarti Kartika LESTARI・岩崎俊樹：アジアモンスーンオンセットにおける 海面水温と海陸の温度差の役割に関する大気大循環モデル実験	1	69-83
Maria João COSTA・Byung-Ju SOHN・Vincenzo LEVIZZANI・ Ana Maria SILVA：GOME と GMS 衛星データの複合解析による アジア域ダストの放射強制量の推定—事例研究—	1	85-95
富川喜弘・吉識宗佳・佐藤 薫：南半球極渦内で観測された中立波動	1	97-113
久保田尚之・城岡竜一・牛山朋来・陳 敬陽・中田 隆・竹内謙介・米山邦夫・ 勝俣昌巳：赤道西太平洋において MJO 活発期に観測された 積雲対流活動とその環境場の構造	1	115-128
加藤輝之：1999年6月29日に九州北部に豪雨をもたらした線状の降水システムの 構造について	1	129-153
菊地勝弘・佐々木佳明・笹垣和香子・野村 聡：pH イメージング顕微鏡を使った 樹葉上の酸性液滴の中和実験	1	155-164
水田 亮・大内和良・吉村裕正・野田 彰・片山桂一・行本誠史・保坂征宏・ 楠 昌司・川合秀明・中川雅之：JMA-GSM モデルを用いた 20 km 格子間隔の全球気候シミュレーション—平均気候状態—	1	165-185
稲垣厚至・Marcus Oliver LETZEL・Siegfried RAASCH・神田 学：非一様加熱が 熱収支インバランスに及ぼす影響—LES による数値解析的検討—	1	187-198
安永数明・吉崎正憲・若月泰孝・室井ちあし・栗原和夫・橋本明弘・金田幸恵・ 加藤輝之・楠 昌司・大内和良・吉村裕正・水田 亮・野田 彰： 20 km 格子間隔の大気大循環モデルと 5 km 格子間隔の 雲解像領域気候モデルによって予測された将来気候における 梅雨の変化	1	199-220
山口和貴・野田 彰：北太平洋域における温暖化の空間パターン —ENSO 対 AO—	1	221-241
鬼頭昭雄・内山貴雄：マルチモデルアンサンブル温暖化実験によるアジアの 夏の雨期の変化	2	247-258
大内和良・吉村 純・吉村裕正・水田 亮・楠 昌司・野田 彰：		

20 km 格子全球大気モデルで予測された地球温暖化時の 熱帯低気圧の気候学的性質—頻度と風速に関する解析—	2	259—276
村田文絵・山中大学・橋口浩之・森 修一・Mahally KUDSY・ Tien SRIBIMAWATI・Budi SUHARDI・EMRIZAL： スマトラ島で観測された東進する総観規模スケールの 雲システムに伴う乾燥貫入	2	277—294
佐藤康雄・行本誠史・辻野博之・石崎 廣・野田 彰：温室効果ガス強制による 北半球大気循環の北極振動 (AO) 的な変化に対する 黒潮解像海洋モデルにおける北太平洋海洋循環の応答	2	295—309
藤部文昭・山崎信雄・小林健二：日本における106年間 (1898~2003) の 降水日変化の経年変化	2	311—317
田中 博・寺崎康児：球面 Rhines スケールで順圧エネルギーがロスビー波飽和点を 越えて集積することによるブロッキングの形成	2	319—332
行本誠史・野田 彰・鬼頭昭雄・保坂征宏・吉村裕正・内山貴雄・柴田清孝・ 荒川 理・楠 昌司：気象研究所大気海洋結合モデル・バージョン2.3 (MRI-CGCM2.3) における現在気候と気候感度	2	333—363
高井 博・川村 宏・磯口 治：散乱計導出海上風ベクトルによって観測された 日本周辺海上におけるヤマセ風の特性	2	365—373
石崎紀子・植田宏昭：1998年夏季アジアモンスーン開始期のインドシナ半島と ベンガル湾における大気加熱の季節変化	2	375—387
佐々木秀孝・栗原和夫・高藪 出・村崎万代・佐藤康雄・辻野博之： 気象研究所大気海洋結合地域気候モデルの予備的実験	2	389—402
吉村 純・杉 正人・野田 彰：地球温暖化が熱帯低気圧の発生数に及ぼす影響	2	403—426
稲津 将・Brian J. HOSKINS：ニュージーランド付近におけるジェットの分流 およびストームトラック活動の極小の季節進行と冬季の経年変動	3	433—445
Riyu LU・Ying LI・Buwon DONG：夏期の北西太平洋と東アジアにおける大気 外部および内部変動	3	447—462
早崎将光・菅田誠治・田中 博：春季モンゴルにおける寒冷前線活動度の年々変動	3	463—475
Shu-Hua CHEN・Francois VANDENBERGHE・Ching-Yuang HUANG： シミュレーション実験による GPS 屈折率導出の誤差特性	3	477—496
若月泰孝・坪木和久・武田喬男：梅雨前線帯のメソスケールクラウドクラスター内に 発達した階層構造をもつ降水システムの周期的変動	3	497—518
Hui YU・Johnny C. L. CHAN・Yihong DUAN：AMSU-A の気温データを用いた 北西太平洋域の台風の強度推定	3	519—527
二宮洸三：日本海上で観測された寒気吹出と気団変質のエネルギー収支の様相	3	529—542
Scott CURTIS・Ahmed SALAHUDDIN：南半球夏季のインド・太平洋セクター における20-50日および50-100日変動の経年変化	4	567—579
楠 昌司・吉村 純・吉村裕正・野田 彰・大内和良・水田 亮：20 km 格子間隔の 大気大循環モデルを用いた地球温暖化実験による梅雨の変化	4	581—611
佐野哲也・坪木和久：夏季の海風到達時に山岳斜面で発達した積乱雲の構造と発達	4	613—640
安中さやか・花輪公雄：日本の夏季気温の経年変動および その大規模大気循環場との関係	4	641—652
Rebecca MATICHUK, Brian BARBARIS, Eric A. BETTERTON, 堀 雅裕		

村尾直人・太田幸雄・Dale WARD: アリゾナ州のレモン山において 10年間に亘って観測したエーロゾルと気体状前駆物質の化学組成	4	653—670
Qingnong XIAO・Ying-Hwa KUO・Ying ZHANG・D. M. BARKER・ Duk-Jin WON: MM5-3次元変分法システムのための 熱帯低気圧ボースデータ同化スキームと2002年の 台風15号 (Rusa) 上陸直前事例での数値実験	4	671—689
周 廣強・趙 春生・段 英・秦 瑜: 中国南部の擾乱の解析から見た 降水への放射効果	4	691—704
V. N. BRINGI・M. THURAI・中川勝広・G. J. HUANG・小林隆久・足立アホロ・ 花土 弘・関澤信也: 沖縄における C-バンド偏波レーダーから 推定した降雨強度: 2D ビデオディストロメータ及び 400 MHz ウィンドプロファイラーとの比較	4	705—724
川合義美・大塚清敏・川村 宏: 陸奥湾における日中の海面加熱と 局地大気循環に関する研究	4	725—744
岩崎博之: 気象要素の年々変動がモンゴルの植生活動度に与える影響	4	745—762
Cheng-Zhong ZHANG・上田 博・山田広幸・Biao GENG・Yunqi NI: 中国東部における2001年から2003年梅雨期の メソ対流システムの特性	4	763—782
安成哲三・三輪剛史: チベット高原上の対流活動が梅雨前線上の メソスケール擾乱に与える影響について —1998年夏季における事例解析—	4	783—803
石田晋一・岩山隆寛: 古典的なエクマンパンピングの非線形補正に関する 包括的な解析	5	839—851
Seol-Eun SHIN・Ji-Young HAN・Jong-Jin BAIK: 非発散パロトロピック大気に おける2つの渦の臨界分離距離について	5	853—869
Ken-Chung KO・Huang-Hsiung HSU: 7-8月の東アジアモンスーン領域における 熱帯低気圧経路に関係する Sub-monthly スケールの循環の特徴	5	871—889
初鹿宏壮・筒井純一・Michael FIORINO・大野木和敏: JRA-25長期再解析における 熱帯低気圧の解析に対して風のプロファイルデータが与えるインパクト	5	891—905
大島慶一郎・二橋創平・橋谷英介・渡辺知弘: オホーツク海の海水面積の年々変動: 秋の海面熱フラックスの重要性	5	907—919
東海林孝幸・近藤裕昭・吉門 洋・玄地 裕・井原智彦・亀卦川幸浩・平野勇二郎・ 旭 一岳: 東京都心およびその周辺地域における建物の存在が気温に 与える影響について—数値モデルによる解析—	5	921—937
井上 (吉川) 久幸・松枝秀和・五十嵐康人・澤 庸介・和田 晃・根本和宏・ Hartmut SARTORIUS・Clemens SCHLOSSER: つくばで観測された 大気中の CO ₂ と ⁸⁵ Kr の季節変化と長期変動	6	959—968
長澤亮二・岩崎俊樹・浅野正二・斉藤和雄・岡本 創: ヤマセに伴う下層雲の 生成・発達シミュレーションにおける非静力学モデルの水平解像度依存性	6	969—987
M. Venkat RATNAM・津田敏隆・森 修一・古津年章: 全球および局所スケールの 波動擾乱による対流圏界面付近の温度構造の変動—ラジオゾンデと CHAMP/GPS 掩蔽の同時観測による事例解析—	6	989—1003
吉田幸生・浅野正二・岩波 越: 3 波長レーダ及びマイクロ波放射計を用いた		

水雲・氷雲・混合相雲微物理特性の導出	6	1005—1031
藤部文昭・山崎信雄・小林健二：日本における大雨と少雨の長期変化 (1901～2004年)	6	1033—1046
古林絵里子・内山明博・山崎明宏・松瀬光太郎：最尤法を適用した解析ソフトによる 放射観測からのエアロゾル光学特性の解析	6	1047—1062
Preface	A	i
深尾昌一郎：赤道大気上下結合：プロジェクト概要	A	1—18
柴垣佳明・古津年章・下舞豊志・森 修一・村田文絵・藤吉康志・橋口浩之・ 深尾昌一郎：CPEA-I 期間中にインドネシア海洋大陸で観測された スーパークラウドクラスターの evolution とそれに対応した風速場	A	19—31
川島正行・藤吉康志・大井正行・本多哲也・古津年章・下舞豊志・橋口浩之： CPEA 第一次国際観測キャンペーン (CPEA-I) 期間中に行われた スマトラ島における降水系のドップラーレーダー観測の概要	A	33—56
Simon ALEXANDER・津田敏隆・古本淳一・下舞豊志・古津年章・川島正行： 第一次 CPEA 集中観測期間中の積雲対流の統計的特性の解析	A	57—93
Tri Handoko SETO・山本真之・橋口浩之・深尾昌一郎・阿保 真・古津年章・ Mahally KUDSY：赤道大気レーダーを用いたインドネシア・ スマトラ島における西風バーストに関する研究 —第一次 CPEA キャンペーンにおける事例解析—	A	95—112
森 修一・濱田純一・山中大学・児玉安正・川島正行・下舞豊志・柴垣佳明・ 橋口浩之・Tien SRIBIMAWATI：赤道大気レーダー (EAR) で 観測されたインドネシア西スマトラにおける降水雲システム内の 鉛直流特性について：第一次 CPEA キャンペーン期間中 2004年 4 月23～24日の事例解析	A	113—131
児玉安正・徳田弥夏・村田文絵：雷活動と Q1・Q2プロファイルにより評価された CPEA-I 期間中のインドネシア海洋大陸の対流活動	A	133—149
高薮 縁・横森淳一・米山邦夫：熱帯西部太平洋とインドシナ半島における 大気大規模場と積雲対流との相互作用に関する診断的研究	A	151—169
荒木龍蔵・山中大学・村田文絵・橋口浩之・奥勇一郎・Tien SRIBIMAWATI・ Mahally KUDSY・Findy RENGONO：インドネシア西ジャワ州 スルボンで観測された局地風と雲活動の日周期に関する季節変化と 経年変化	A	171—194
古津年章・K. Krishna REDDY・森 修一・Merhala THURAI・J. Teong ONG・ D. Narayana RAO・下舞豊志：アジアモンスーン域における 雨滴粒径分布の季節・日周変化特性	A	195—209
前川泰之・藤原 正・柴垣佳明・佐藤 亨・山本 衛・橋口浩之・深尾昌一郎： 赤道大気レーダー観測所の Ku 帯衛星通信回線に対する 熱帯降水現象の影響	A	211—225
西村耕司・後藤英公・佐藤 亨：マルチスタティック赤道大気レーダーによる 高分解能 3 次元風速場観測	A	227—238
M. Venkat RATNAM・津田敏隆・柴垣佳明・古津年章・森 修一： CPEA キャンペーンのラジオゾンデ多点観測による 赤道域の大気重力波の特性解析	A	239—257

Sundararajan SRIDHARAN・津田敏隆・中村卓司・古津年章・森 修一・ James M. RUSSELL: CPEA 集中期間中の熱帯域における 7日周期ケルビン波の特性……………	A	259—275
津田敏隆・M. Venkat RATNAM・古津年章・森 修一: CPEA 集中観測 (2004年4~5月) のラジオゾンデと CHAMP/GPS 掩蔽データ による10日周期のケルビン波の解析……………	A	277—293
Sundararajan SRIDHARAN・津田敏隆・Robert A. VINCENT・中村卓司・ EFFENDY: 赤道域の MLT 領域における5~8日周期波動の ライダー観測……………	A	295—304
塩川和夫・鈴木 臣・大塚雄一・小川忠彦・中村卓司・Martin G. MLYNCZAK・ James M. RUSSELL III: 赤道域中間圏におけるフロント構造の総合観測…	A	305—316
柴田泰邦・長澤親生・阿保 真・斎藤 享・丸山 隆・中村卓司: 赤道域における 中間圏界面近傍のスポラディック Fe 層およびスポラディック Na 層の ライダー観測……………	A	317—325
小川忠彦・大塚雄一・塩川和夫・齊藤昭則・西岡未知: インドネシア上空の 電離圏擾乱とその擾乱が対流圏大気重力波によって誘起される 可能性について……………	A	327—342
大塚雄一・塩川和夫・小川忠彦: GPS 三点観測によって得られたインドネシア上空の 電離圏シンチレーションと東西ドリフト速度……………	A	343—351

要報と質疑

遠藤伸彦・門田 勤・松本 淳・Borjiginte AILIKUN・安成哲三: モンゴルにおける夏季降水特性: 1960年から1998年の データによる気候値とトレンド解析……………	3	543—551
真野裕三: CO ₂ 15 μ 帯における放射加熱率の単純で高精度な計算手法……………	3	553—560
C. B. WITHERS・S. NADARAJAH: ニュージーランドにおける 日風程再現レベルのトレンド……………	4	805—819
広田知良・岩田幸良・林 正貴・鈴木伸治・濱嵩孝弘・鮫島良次・高藪 出: 北海道・十勝地方の土壤凍結深の減少傾向および気候変動との関連……………	4	821—833
張 代洲・岩坂泰信: 海塩と硫酸塩による黄砂粒子サイズ変化の比較……………	5	939—947
久芳奈遠美: 「多成分エアロゾル粒子が海上雲の微物理学的特性に及ぼす 影響についての数値実験 (Zhao et al. 2005, J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 83, 977—986)」 に関するコメント……………	5	949—953
森脇 亮・神田 学: 住宅街キャノピーにおけるスカラー粗度パラメータ……………	6	1063—1071
田中 博・野原大輔・Hi-Ryoung BYUN: 簡単2次元モデルによる 韓国 Ice Valley の風穴循環の数値実験……………	6	1073—1084
石原正仁・加藤美雄・阿保敏広・小林健二・泉川安志: 気象庁の 現業用ウィンドプロファイラ網の特性と性能……………	6	1085—1096

学会誌「天気」の論文・解説リスト

学会誌「天気」の論文・解説リスト (2005年11月号・12月号)……………	244
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2006年1月号・2月号)……………	429

学会誌「天気」の論文・解説リスト (2006年3月号・4月号)	562
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2006年5月号・6月号)	835
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2006年7月号・8月号)	955
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2006年9月号・10月号)	1097

英文レター誌 SOLA の論文リスト

英文レター誌 SOLA の論文リスト (2005年161—212)	245
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2006年001—028)	430
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2006年029—063)	563
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2006年064—103)	836
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2006年104—123)	956
英文レター誌 SOLA の論文リスト (2006年124—159)	1098
